

民主党埼玉県
第1区総支部所属
埼玉県議会議員



あさのめ よしひで
浅野目 義英
昭和33年生まれ
民主党・無所属の会幹事長
議会運営委員会
警察危機管理防災委員会
緊急経済対策特別委員会



いのうえ まさかつ
井上 将勝
昭和54年生まれ
民主党・無所属の会
産業労働企業委員会
地方分権・行革新都心特委

民主党埼玉県
第1区総支部所属
さいたま市議



かんざき いさお
神崎 功
昭和30年生まれ
さいたま市議会副議長
民主党さいたま市議団顧問



たかの ひでき
高野 秀樹
昭和35年生まれ
民主党さいたま市議団団長
総合政策委員会
地下鉄7号線延伸事業化委員会



みかみ たかし
三神 尊志
昭和55年生まれ
民主党さいたま市議団
市民生活委員会委員長
地下7延伸委員会



こやなぎ よしふみ
小柳 嘉文
昭和40年生まれ
民主党さいたま市議団
まちづくり委員会副委員長
決算行政評価特別委員会



たけだ かずひろ
武田 和浩
昭和36年生まれ
民主党さいたま市議団
総合政策委員会
見沼田圃将来特別委員会

民主党埼玉県
第1区総支部所属
県政・市政担当



まつおか こういち
松岡 耕一
昭和51年生まれ
民主党埼玉県第1区総支部幹事
緑区・県政担当

民主党埼玉県総支部連合会主催
2014政経文化の集い「地」 会場：浦和ロイヤルパインズホテル
講師：藤井裕久氏（元財務大臣）

日時：平成26年10月27日(月) 会費：20,000円

第一部講演：18時～

第二部レセプション：19時～

詳細はたけまさ事務所まで
お問い合わせ下さい。

【衆議院議員 たけまさ公一プロフィール】

- 昭和36年(1961年)生まれ
- さいたま市立木崎小、木崎中、県立浦和高校、慶應義塾大学法学部政治学科卒業
平成元年松下政経塾卒業(第5期生)
- 平成11年4月、埼玉県議会議員2期目当選 ●平成24年12月16日、衆議院議員5期目当選
- 元財務副大臣、元外務副大臣
- 【衆議院】財務金融委員会委員/憲法審査会会長代理/消費者問題特別委員会委員
- 【民主党】税制調査会副会長 (埼玉県連)代表代行

■たけまさ公一事務所(所在地)



〒330-0074
浦和事務所 さいたま市浦和区北浦和3-6-11 松本ビル2F
電話 048-832-3810 FAX 048-832-3846

〒339-0057
岩槻事務所 さいたま市岩槻区本町5-5-12
電話 048-749-6801 FAX 048-749-6802

〒100-8982
国会事務所 千代田区永田町2-1-2 衆議院第2議員会館312号室
電話 03-3508-7062 FAX 03-3519-7715



号外
(No. 169)

民主党プレス民主編集部
東京都千代田区永田町1-11-1
電話03-3595-9988(代表)

埼玉県(第1区版) 平成26年9月4日号

民主党埼玉県第1区総支部
さいたま市浦和区北浦和3-6-11
電話：048-832-3810
FAX:048-832-3846

民主党埼玉県第1区総支部長 たけまさ公一

～たけまさ公一 第169号
衆議院議員国会レポート～

地域ニュース

おかえりなさい、若田光一船長(8/20)

日本人初の国際宇宙ステーション(ISS)船長を務めた宇宙飛行士の若田光一さん(さいたま市出身)がに市民会館おおみやにてミッション報告会を開催致しました。

武正議員の後輩にあたる若田さんの報告は映像を駆使し、会場一杯の参加者はまるで宇宙に行ったかの思いで釘付けになりました。

会場の七割以上は小学生で、質問コーナーは準備されていた5人の小学生だけでなく、若田さんが会場を回り大人・中学生、5～6人の小学生から質問を受けていました。質問の内容は、どれも関心するものでした。

「お帰りなさい！ミッション成功おめでとうございます！！」

県医療審議会で大学病院の誘致へ(9/2)

埼玉県医療審議会が9月2日開催され、大学病院の公募が正式決定されました。応募条件には大学付属病院で「質の高い医師を継続的に採用する」(県保健医療部)ため、医学系大学院を併設することを盛り込みました。

ほかにも18年3月までに建設を始められることや、医師の確保が難しい地域への医師派遣に協力できることを条件としました。厚生労働省はこのほど、県が策定する地域保健医療計画に盛り込む病床数の算定方法の見直しを容認しました。その結果、高齢化など県が持つ直近の人口データを踏まえ、最大で約1500床増やせるようになったことを受けたものです。病院機能に加え、医療従事者の助成機能も公募の条件に加えることになりました。



携帯電話OK!



■たけまさ公一オフィシャルブログ

<http://ameblo.jp/takemasa-koichi/>

ご意見・ご要望専用
メールアドレス voice@takemasa-k.jp



埼玉県内の基準病床数大幅増加へ(8/12)

埼玉県内でかねてより懸案事項であった基準病床数について、厚生労働省の算定見直しにより最大1502床まで増床可能になったことを受け、上田埼玉県知事をはじめ県内選出の国会議員が田村厚生労働大臣を訪問し、武正公一議員も同席いたしました。上田知事からは「県の後期高齢者は2013年では60万人だが、25年には倍の120万人になる。人口はまだまだ伸びており、ベッドの増加は不可避」との意見が出されました。「埼玉県の10万人あたりの医者数、病院ベッド数がなぜ全国最下位なのか？」を、武正議員は何度となく国会質問で取り上げ、厚生労働省による都道府県毎の必要基準病床の算定方法の見直しを提案してきました。昨年、埼玉県の参議院選挙でも民主党として最重要政策として取り上げました。選挙後、上田知事から県選出国会議員に呼びかけがあり、「オール埼玉」の超党派での取り組みが始まりました。結果、この度、必要基準病床数の1502床の増床が認められることとなりました。しかし、これでもまだ、全国最下位の汚名を拭うことはできません。

表のように、基準病床数全国1位の高知県と最下位の埼玉県の一人当たりの医療費の格差解消（表1参照）が必要だからです。当日、田村厚生労働大臣に上田知事、武正議員を含む11名の県選出国会議員が「埼玉の医療充実と国の制度の見直しの申し入れ」を行いました。田村大臣からは「何度も国会で取り上げていただきました。」の言及もありました。現在、この増床認可を受けてさいたま市内への大学病院誘致も交渉中です。引き続き、「オールさいたま」で取り組みたいと思います。

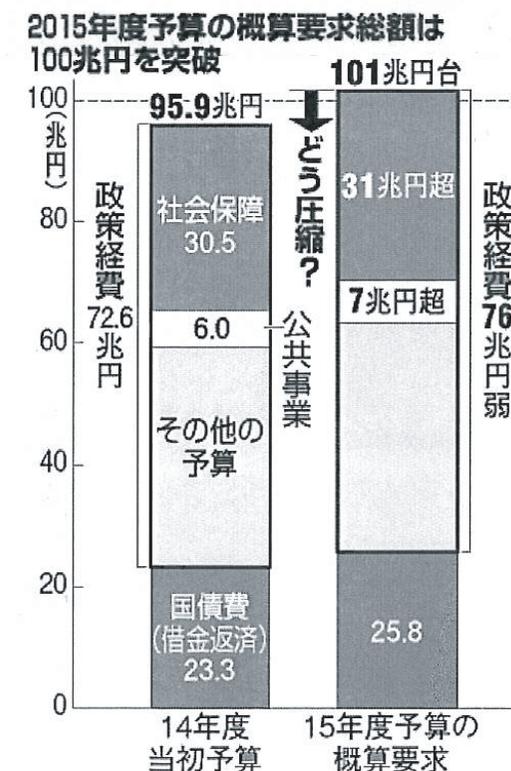
(表1 出典 読売新聞 8/27より)

1	高知県	62.5万円
2	山口県	61.6万円
3	大分県	60.0万円
~		
45	沖縄県	41.2万円
46	埼玉県	41.1万円
47	千葉県	40.1万円

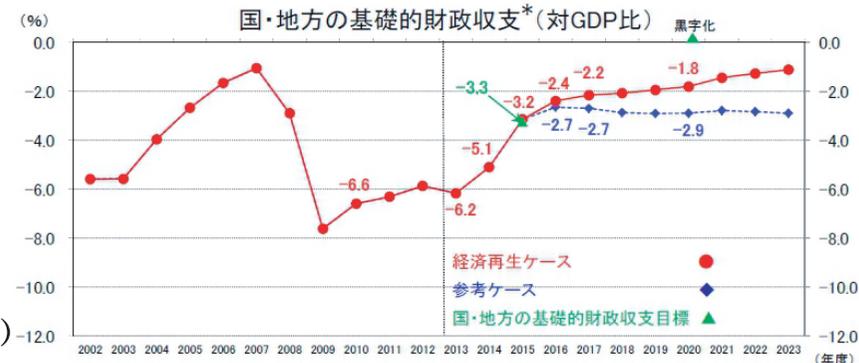
住民1人当たりの医療費が高い県と低い県

概算要求総額100兆円を超える(8/29)

8月29日に各省の平成27年度概算要求が示され、社会保障費や公共事業費などを含む政策経費が前年度より約4兆円増額したことや国債費が膨らんだことを受け、予算総額が初の100兆円を超える見通しとなりました（表2参照）。政府が示す2020年プライマリーバランスの黒字化は今年7月25日の「試算（表3参照）」時点でもマイナス1.8パーセントであり、加えて来年度予算が概算要求のように膨れあがれば、国際公約である財政再建目標は放棄することになります。来年の夏には「中期財政計画」を見直す政府には秋の臨時国会で中長期の財政再建方針を示すべきであると考えます。今後、特に、年末に控える第二段階の消費税率引き上げの決定を控えているだけに、実体経済の把握が急務です。武正事務所が独自に行ったアンケートでは「4人に3人の方が景気回復の実感に乏しい」とお答えになっております。国民の皆さんの仕事や暮らしの声をできるだけ多く把握するためにも国会の早期開会を求めます。



(表2 出典 朝日新聞デジタル 8/30より)



(表3 出典 内閣府HPより)